

学年	科	コース	教科	単位数	担当者
3	電子機械工学科		実習(シーケンス)	4	末次
担当者(担当クラス)		3年2組			
<b>この科目を履修するための条件や準備</b>					
シーケンストレーナー、三菱汎用シーケンサ、BSK-500-TR II、ノートパソコン、モニター、ドライバーなどの工具類。					
<b>この科目のねらい 目標</b>					
タイプの異なった3種類のシーケンサの機器を使用して、ラダー図を作成からプログラミングによる機器の動作等、シーケンスの制御作業を習得させる。					
<b>具体的な指導方法</b>					
まず例題を提示し、ラダー図、プログラミング、動作確認をさせ、類似の練習問題と課題を与えてシーケンス制御作業を身に着けさせる。まとめとして、レポートを作成させ提出させる。					
<b>使用教材</b>					
<b>使用する教科書</b>			<b>使用する副読本</b>		
オリジナルテキスト			自作プリント		
<b>評価方法</b>					
実習態度・提出物(レポート)・出席状況などで総合的に判断する。					
<b>年間授業計画</b>					
実習の項目は、①シーケンス制御 ②アーク溶接講習 ③デジタル/エンジニアリング(D/E) ④アーク溶接 II があり、年間を通してローテーションで実施する項目の一つである。					
1週目: シーケンス制御の基礎、シーケンストレーナー機器を使って配線による回路の組立をさせる実習。課題とレポート作成。					
2週目: ラダー図の作成やラダー図からプログラミングを行い、三菱汎用シーケンサにプログラム入力させ、機器の動作確認を行う。課題とレポート作成。					
3週目: ラダー図の作成やラダー図からプログラミングを行い、三菱汎用シーケンサにプログラム入力させ、機器の動作確認を行う。前回より少し難易度の高い課題とレポート作成。					
4週目: ラダー図の作成やラダー図からプログラミングを行い、パソコンに入力し、BSK-500-TR IIの機器の動作確認を行う。課題とレポート作成。					